

## 国立大学法人 長岡技術科学大学

### 平成26年度第2回(第62回) 経営協議会議事要旨

日時	平成26年6月23日(月) 13時30分～15時35分
場所	ホテルニューオータニ長岡3階【うめ】
出席者	新原議長、縣委員、大貝委員、合田委員、五味委員、相岡委員、山崎委員、武藤委員、東委員、菅野委員、三上委員、中出委員、斎藤委員(議事の表決の委任による出席者：池田委員、岡田委員、小畑委員、森委員)
欠席者	岸委員
陪席者	齋藤監事、滝上監事、伊藤附属図書館長、高橋長岡市理事(商工部長)兼エネルギー政策監
事務局	総務部長、企画・広報室長、総務課長、財務課長、総務課課長補佐、財務課副課長、財務課課長補佐、企画・広報室企画・評価係長、総務課総務係長、財務課主計係長、財務課主計係主任、総務課総務係員、財務課主計係員

議事に先立ち、議長から新任の合田委員の紹介があった。引き続き合田委員から挨拶があった。続いて、第61回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

#### 審議事項

##### 1. 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

武藤委員から資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 留学生の割合が11.5%と高い割合を維持されているが、どのような留学生確保の対策をとられているか。また、今後の見通しはどうか。
- 本学では、学部教育の前半2.5年は現地の大学で日本語教育及び専門基礎教育を現地教員が主体となって実施し、後半2年は日本において専門教育を実施するツイニングプログラムを12年前から行っている。日本の国立大学として初のツイニングプログラムであり、これがベースとなっている。また、ダブルディグリー・プログラム等による海外大学との連携を図り、今後も留学生の受け入れを推進していく。
- 学生に関連する実績の内容をもっと記載したほうがよいのではないか。
- 十分表現できていないところがあり、より見える形の表現にするよう検討する。

##### 2. 国立大学法人長岡技術科学大学業務方法書の一部変更について

菅野委員から資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

##### 3. 平成25事業年度決算について

菅野委員から資料3-1～3-5に基づき説明があった。

引き続き、滝上監事から会計監査人及び監事による監査を実施した結果、財務諸表等について適正なものとして認められた旨の報告があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 特別経費で実施している各事業について、第3期への継続は認められないとのことであるが、今後の予算確保についてはどのように考えているか。
- 国の予算は非常に厳しい状況であるが、文科省や他省庁等の国の動向を注視しながら本学の予算として要求可能なものについて、タイミングを捉えて対応していきたい。
  
- 組織が増えていく傾向の中で、人件費を減らしていく考えというのはどういう考えに基づいているのか。
- 24年度と25年度の人件費を比較すると各種事業の実施により人件費は増えているが、法人化した16年度の人件費（38億）と比べると削減されている状況である。国の人件費削減方針に対応しているということである。

#### 4. 平成27年度概算要求について

菅野委員から資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 5. 平成26年度資金運用方針について

菅野委員から資料5に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 報告事項

##### 1. 大学院工学研究科・工学部における専攻の設置（新設・改組）、名称変更について

武藤委員から資料6に基づき、報告があった。

##### 2. 会計監査人の選任について

菅野委員から資料7に基づき、報告があった。

以上